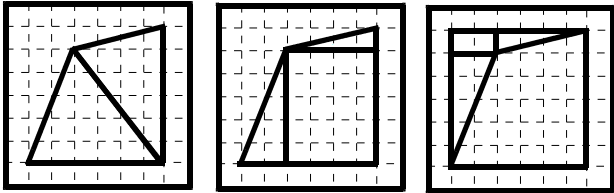
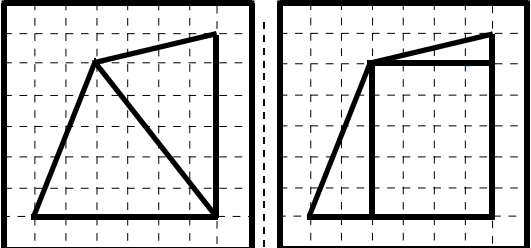
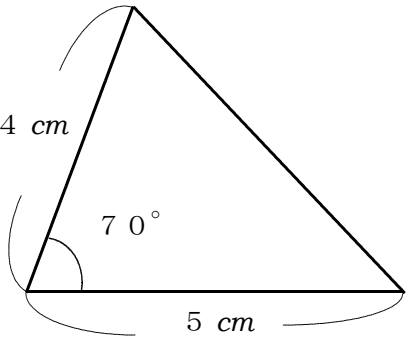


大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
20点	①	①	処理			4	5
	②	②	処理			3.8	5
	③	③	処理			$\frac{31}{35}$	5
	④	④	処理			$\frac{4}{9}$	5
15点	⑤	知識		○公倍数だが30, 60, 90以外の数を書いている。(3つ以上書いてある場合は1点)	2	30, 60	5
				○30と90を書いている。	3		
				○60と90を書いている。	3		
	⑥	⑥	考え	○2人, 4人, 8人のどれかを書いている。	2	(求め方) 48の約数は(1, 2, 3, 4, 6, 8, 12, 16, 24, 48) 32の約数は(1, 2, 4, 8, 16, 32) 最大公約数は16だから <u>答え 16 人</u> (最大公約数という言葉を使っていなくても、約数、公約数の考えを使って求め方が書いてあれば可)	5
	⑦	⑦	知識			答え (0.5) → ($\frac{2}{3}$) → (0.75) → ($\frac{7}{9}$)	5
10点	⑧	⑧	処理	○引き算をして正確な数 991249 を書いている。	2	1000000または990000 (100万, 99万も可)	5
	⑨	⑨	関心			○身の回りで、概数が使われている場合を書いている。 (例) ・買い物などの時のだいたいの値段。 ・球場の観客の人数。 ・収穫された果物の重さ。 ・運動場など広い場所の面積。 など	5

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
4	(1)	⑩	処理	○式は合っているが、計算を間違えている。	2	(式) $(16 + 20 + 21 + 19) \div 4$ $= 76 \div 4$ $= 19$ 答え <u>19 kg</u>	5
	(2)	⑪	考え	○ $16 + 20 + 21 + 19$ と 20×5 の計算をしてその差を考えているが、計算を間違えている。	2	(式) $20 \times 5 = 100$ $16 + 20 + 21 + 19 = 76$ $100 - 76 = 24$ 2月は24 kg 集める必要がある。	5
				○表の数値から、20 kg にならしていく考えをしているが、答えを間違えている。	2	または 表の数値から、20 kg にならしていくと4 kg 足りないので、2月は24 kg になる。 など 答え <u>24 kg</u>	
5	(1)	⑫	考え	○求められる図形に分けることができる。	2	 など	5
				○式の表現は十分ではないが、答えは合っている。	3	 $6 \times 4 \div 2 = 12$ $2 \times 5 \div 2 = 5$ $6 \times 5 \div 2 = 15$ $1 \times 4 \div 2 = 2$ $12 + 15 = 27$ $4 \times 5 = 20$ 答え <u>27 cm²</u> 答え <u>27 cm²</u> など	
6	(1)	⑬	処理	○式は合っているが、計算を間違えている。	3	(式) $2400 \div 32 = 75$ 答え <u>分速 75 m</u>	5
	(2)	⑭	考え	○ $75 \times 10 = 750$ m で、よしおさんが出発するとき、弟が750 m 先にいることを求めている。	2	(求め方) (例) 弟は、よしおさんが出発するとき、すでに10分間歩いているので、 $75 \times 10 = 750$ m 先の地点にいる。	5
				○1分間によしおさんは、弟に125 m ずつ追いついていくことを書いている。	2	よしおさんの進む速さは分速200 m で弟の歩く速さは分速75 m なので、 1分間に、 $200 - 75 = 125$ m ずつ差は縮まる(追いつく)ことになる。 よって $750 \div 125 = 6$ となるからよしおさんは7時40分に家を出て、6分後の7時46分に弟に追いつく。 など 答え <u>午前 7 時 46 分</u>	
				○求め方は書いていないが、答えのみ合っている。	2		

大問	中間	連番	観点	やや満足及び概ね満足できる解答状況	配点	十分満足できる解答状況	配点
7	(1)	⑮	処理	<div>○9月の自然科学の割合が30%であることは書いている。</div> <div>○式は合っている。 150×0.3</div>	<div>2</div> <div>3</div>	<div>(式) $150 \times 0.3 = 45$ または $150 \div 100 = 1.5$ $1.5 \times 30 = 45$ 答え 45 冊</div>	5
	(2)	⑯	考え	<div>○文学の本の数をいくつか求めている。 9月 $150 \times 0.4 = 60$ 冊 10月 $120 \times 0.5 = 60$ 冊 11月 $200 \times 0.35 = 70$ 冊 12月 $160 \times 0.25 = 40$ 冊</div> <div>左のうち1つ求めている。 2つ以上求めている。</div>	<div>2</div> <div>3</div>	<div>○貸し出した文学の本の数を月ごとに正しく求め、11月が一番多いことを書いている。 (例) 9月 $150 \times 0.4 = 60$ 冊 10月 $120 \times 0.5 = 60$ 冊 11月 $200 \times 0.35 = 70$ 冊 12月 $160 \times 0.25 = 40$ 冊 だから、(11)月が一番多いと思います。</div>	5
8	(1)	⑰	知識			<div>○次のどれかを書いている。 ・(辺AB)と(辺AC) ・(辺AB)と(角B) ・(辺AC)と(角C) ・(角B)と(角C)</div>	5
	(2)	⑱	処理	<div>○4 cm, 5 cm, 70° の3つの条件のうち2つは正確にかいている。</div>	2	<div>○正確に三角形をかいている。</div> 	5
9	(1)	⑲	考え	<div>○円の面積を求めるために必要な長さは、(直径)です。</div> <div>○円の面積を求めるために必要な長さは、(半径)です。</div> <div>○直径または半径を計算で求めている。 $62.8 \div 3.14 = 20$ (直径) $20 \div 2 = 10$ (半径)</div>	<div>1</div> <div>1</div> <div>2</div>	<div>円の面積を求めるために必要な長さは、(半径)です。(直径も可) $62.8 \div 3.14 = 20$ (直径) $20 \div 2 = 10$ (半径) $10 \times 10 \times 3.14 = 314$ 答え 314 cm²</div>	5
	(2)	⑳	関心	<div>○円の面積が一番大きくなることには触れていないが、自分なりの考えを書いている。 (例) 三角形よりも正方形の方が大きい。 正方形よりも正六角形の方が大きい。 正方形より円の面積が大きい。 など</div>	2	<div>(例) ・円の面積が一番大きい。 ・三角形, 正方形, 正六角形のように角の数が増えていくと面積も大きくなっていく。 ・頂点が増えると面積が増えることに触れている。 など</div>	5